



POINT 1
脳卒中と循環器病克服
5か年計画

POINT 2
脳卒中に対する
医療体制

POINT 3
多職種、地域で連携した
脳卒中医療を目指した医療体制整備



脳卒中



京都大学医学部附属病院
病院長

宮本 享 先生

●専門分野：
脳神経外科全般

●所属学会：
2017年度～2020年度
一般社団法人日本脳卒中
学会 理事長

2021年度～現在
一般社団法人日本脳神経外
科学会 理事長 他

脳卒中の診療は、「国の循環器病対策推進基本計画」と、日本脳卒中学会、循環器学会が共同で行う「脳卒中と循環器病克服5か年計画」の2つを両輪として進んでいます。脳卒中と循環器病克服5か年計画では、脳梗塞に対するrt-PA静注療法が常時可能な1次脳卒中センター（PSC）、脳卒中の予後を改善させる包括的脳卒中センターの概念を提唱し、2021年春の時点で963の施設が認定され、人口カバレッジ率は98%を超えています。第2次5か年計画では急性期診療のみならず、慢性期にも基軸をおいた医療体制整備が進められています。今後は、脳卒中医療の連携は急性期医療機関だけでなく回復期病院やかかりつけ医など、地域全体で取り組む、それにかかわる人材を育成することが大切となってきます。



11:54

脳卒中医療ケアの進捗状況

これからの

脳卒中医療

POINT 1
晩産化により
増加傾向にある

POINT 2
妊娠合併症のみならず母体の
将来の2型糖尿病発症が高くなる

POINT 3
児の将来の生活習慣病
の発症率が高くなる



**妊娠
糖尿病**



愛媛大学医学部
産科婦人科学 教授

杉山 隆 先生

●専門分野：
産科婦人科学、周産期医学、
代謝・内分泌学

●所属学会：
日本産科婦人科学会(代議員)、日本糖尿病・妊娠学会(理事長)、日本内分泌学会(評議員)、日本産科婦人科新生児血液学会(理事)、日本糖尿病学会(評議員)、日本女性栄養・代謝学会等(理事長)、日本胎盤学会(理事)、日本がん・生殖医療学会(理事)他

妊娠糖尿病の臨床的意義として、①妊娠合併症の増加、②母体の将来の2型糖尿病発症を含めた生活習慣病の増加、③次世代の耐糖能低下や肥満を含めた生活習慣病発症の増加といった短期・中期・長期にわたる問題点があげられます。すなわち妊娠糖尿病は、母児共に妊娠中のみならず長期的な合併症の発症とも関連する点よりその管理は重要であるといえます。妊娠糖尿病の管理については、各症例における病態把握に留まらず母体肥満や家族歴等の背景因子に留意することも必要です。たとえば、肥満は血糖と独立して児の過剰発育と関連するので、血糖管理以外にも妊娠中の母体の体重管理が必要で、このような妊娠糖尿病に対する個別化診療は有用であり、そのためには各症例において多角的視点よりアプローチすることが重要であると考えられます。今後、妊娠糖尿病に対する母児の継続的支援がなされるべきです。

Part1 14:22
Part2 13:01

妊娠糖尿病の

診断と治療のポイント

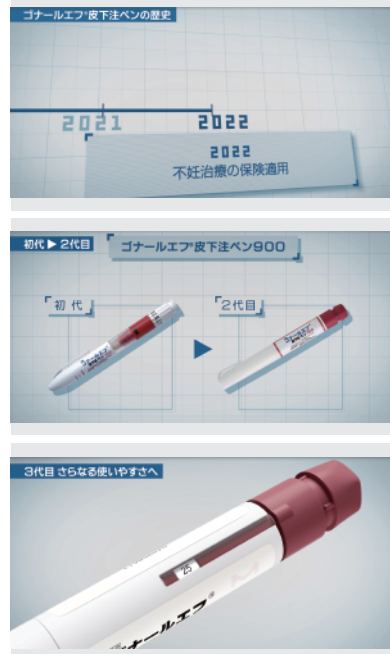
母体のみならず
次世代に影響を及ぼす

妊娠糖尿病

不妊治療

ゴナールエフ ペン動画 改良の歴史

3:29



- POINT 1 ART保険適用に伴い在宅自己注射の更なる普及へ
- POINT 2 視認性向上を目指し、投与量表示窓のデザインを変更
- POINT 3 ゴナールエフペンは発売以降2回の改良を実施

ゴナールエフペンは発売以降2回の改良を経て、現在3代目です。初代ペンに比べて3代目では、利便性向上を目指し、12.5IU毎の投与量調整が可能になり、投与量がデジタル表示されるなどの改良がされています。その歴史をショート動画にまとめたので、ぜひご視聴下さい。

提供:メルクバイオフアーマ株式会社 JP-GON-00370

注目動画

CLINICAL CLOUD
LIVE
クリックライブ

日常診療でよくある症候 × ホルモン異常 体重減少・倦怠感



日時

2022年4月27日(水)
19:00-19:30

開業医の先生方を対象に、「日常診療でよくある症候 × ホルモン異常」と題し、シリーズでお届けいたします。今回は「体重減少・倦怠感」について診療のポイントを詳しくご解説いただきます。

主催:株式会社Doctorbook

演者

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
総合内科学分野 教授

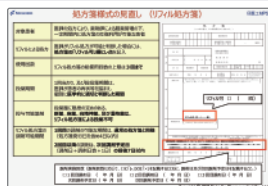
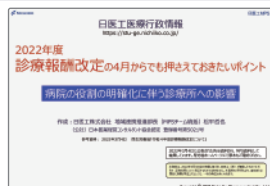
大塚 文男 先生

- 経歴:
1992年岡山大学医学部卒業。
米カリフォルニア大学サンディエゴ校医学部研究員、岡山大学病院内内分泌センター准教授、同センター長などを経て、2012年から現職。
2017年から岡山大学病院副院長。
- 専門分野:総合内科・総合診療科、内分泌代謝科、リウマチ科

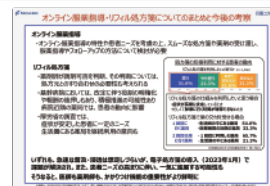
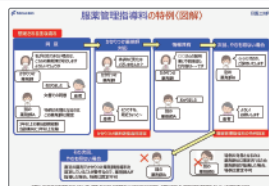


情報
改定
報定

トピックスポイント解説 2022年度 診療報酬・調剤報酬改定



47:40



オンデマンド
配信

診療報酬改定 押さえておくべきポイント

- POINT 1 変更されたオンライン診療の要件をチェック
- POINT 2 リフィル処方箋のルール確認と展望
- POINT 3 病院の役割の明確化に伴う診療所への影響

LIVE配信後
振り返り視聴

調剤報酬改定 押さえておくべきポイント

- POINT 1 地域支援体制加算の取得のためのポイント
- POINT 2 対物業務と対人業務の整理と明確化
- POINT 3 オンライン服薬指導とリフィル処方箋